

9月12日(月)

今日

聖書朗読 出エジプト 16:2~15

イスラエル人は彼らに言った。「エジプトの地で、肉なべのそばにすわり、パンを満ち足りるまで食べていたときに、私たちは主の手にかかって死んでいたらよかったのに。事実、あなたがたは、私たちをこの荒野に連れ出して、この全集団を飢え死にさせようとしているのです。」

出エジプト 16:3

サムは仕事が嫌いではありませんでした。しかし、好きな訳でもありませんでした。毎日、夕方になると何度も時間を確認して、終業時刻になるのを待っていました。連休まであと何週間あるか数え、55歳になると定年まであと何年かと数えました。サムは未来に生きていたのです。

今日の聖書の箇所ですが、イスラエルの人々は荒野の旅が長くなるにつれ、エジプトでの奴隷生活を忘れていきました。エジプトでの良い思い出だけを思い出し、今の状況に愚痴をこぼしていたのです。そして、約束の地に着いたとき、彼らはこれからは食べ物を得るために働かなくてはならないと嘆いたのです。荒野での生活でさえも“古き良き日々”になっていたのです。イスラエルの人々は過去に生きていたのです。

私たちがどの土地に生きるかよりも、私たちの心がどこにあるかが重要なのです。私たちには今日しかありません。今日、私たちは愛を必要としている人を励ますことができます。大変な状況にある人にプレゼントを持って行くこともできます。隣人の車椅子を押してあげて散歩と一緒に行くこともできます。しかし、昨日に戻ることも、やりたいことを明日できる確証もありません。今日を感謝し、今日を生きましょう。

讃美歌 II 82

祈り 神様、私たちにあなたにつかえるための賜物を与えてくださり、ありがとうございます。今日一日そしてこの瞬間、あなたに仕えることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

マデリン・ピーターソン
ネブラスカ州 ヘースティングズ

今日の力

2022年9月12日~9月18日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月13日(火)

あなたの畑の隅

聖書朗読 レビ記 19:9~10

あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。

Ⅱコリント 9:11

レビ記で神様は、人々を守るため4つ目の掟を与えられました。神様は畑の隅は刈り取らずに残し、貧しい者や旅人など、恵まれない人々に残すよう言われました。

神様は私たちに、惜しみなく分け与えることを望まれます。私たちは、商売をするような農民ではないかもしれませんが、私たちは神の御国という土地に種を蒔き、耕し、収穫を行うものです。私たちにそれぞれ異なった賜物が与えられており、それを用いて周りの人々に仕えることができます。

私たちが、蒔く種は成長し御霊の実を実らせます。御霊の実は；愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です(ガラテヤ5:22~23)。その御霊に満たされて私たちは、私たちの賜物を必要としている人々に分けることができます。

讃美歌 503

祈り 父なる神様、私たちの目の前にあなたを賛美する奉仕の機会を見つけられますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ラニ・ロピキュット
テキサス州 サイプレス

9月14日(水)

ラハブの信仰

聖書朗読 ヨシユア記 2:12~22

信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な人たちといっしょに滅びることを免れました。

ヘブル人11:31

イスラエルの神がエジプトを倒したと聞いた時、ラハブはおじけませんでした。躊躇せずイスラエルの神を信じることにしたのです。彼女は偵察を受け入れ、道を案内し、寛容に誠実に接したのです。

お返しとして、彼らは彼女に印を与えました。窓から真つ赤な紐を下ろしておくように言ったのです。そうして、エリコが倒される時、その家に住むものは逃されるというものでした。彼女は偵察の者が家を出るとすぐに紐を吊るしました。

それは少し奇妙な光景だったことでしょうか。来る日も来る日もラハブは信仰の証である赤い紐を窓から下げて待ちました。何日も待ちましたが、何も起こりませんでした。イスラエル軍が攻めて来るのが見えてから下げても良さそうですが、彼女はそうはしませんでした。いく日も彼女は赤い紐を窓から下げ続け神を待ったのです。

時々私たちは、信仰によって生きることを先延ばしにします。明日やろう、また今度やり直そうと考えます。しかし、ラハブは私たちに今日、この瞬間こそ信仰を行動に移す時なのだとして教えてくれています。ラハブは信仰を生きることを躊躇しませんでした。そして神はそんな彼女と共におられました。私たちが信仰に生きる時、神様は私たちと共にいてくださいます。

讃美歌 494

祈り 出エジプトの父よ、私たちがあなたを信じ歩む時、困難な時においても、愛と誠実で導いてください。私たちが今、信仰によって歩む力を与えてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ジョン・コッフイ
コネチカット州 ストーズ

9月15日(木)

不 確 実 の 中 の 確 実

聖書朗読 ルツ記 1:10~22

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密なものもいる。

箴言 18:24

ナオミには、頼れるものは何もありませんでした。飢饉が全ての財産を奪い、夫と息子は死に奪われました。しかし、ナオミは信頼できる家族と友人を得ました。夫と2人の息子の死のあと、ナオミの友達は姑であったナオミに変わらない愛を示し続けたルツでした。本物の友には変わらない力があります。そしてルツは真の友でした。ナオミの精神的な回復、霊的・身体的な回復までも家族によってなされたのです。

「友がいなくてこそが深刻な貧しさである」と言った人がいます。イギリスの弁護士であり作家であるトーマス・ヒューズは良い友人関係の基本は人を優先することだと勧めました。

友を作る賜物を与えられたものは幸いである。なぜなら、それは神が与えられた賜物の中でも優れているからである。

それには、自分を捨て、相手が持つ優れているものと愛を感謝する性質が含まれているからである。

イエス様は良い友人関係に必要な、思いやりのある理解を示されました。お弟子さんたちを理解し、許し、導き、愛されました。イエス様は私たちの友人です。私たちが、誰かの友人になるとき、イエス様の思いやりを思い出しましょう。

讃美歌 312

祈り 神様、私たちが不確実な状況に置かれているときに、あなたに確信を求めることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 タイラー

9月16日(金)

も う 外 国 人 で は な い

聖書朗読 ルツ記 2:1~12

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。

エペソ 2:19

ルツは外国に住む、異邦人でした。異国に住む中、彼女はモーセによって示された異邦人、やもめ、孤児に対する施しの規定の恩恵を受け生活をしていました。また、影響力のあるユダヤ人であったボアズにも助けられていました。ボアズは、神を畏れ、優しく、親切な地主でした。彼はルツに、刈り残した落穂を拾い、彼女と彼女の姑であったナオミの分のパンを作ることを許していました。その後、ボアズはルツと結婚し、家に迎え入れました。ルツはもう外国人ではなくなりました。

ずっと後に、パウロはエペソの教会に対し、イエス様はユダヤ人と異邦人の区別を取り除かれたと書いています。「こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです」(エペソ2:19)。イエス様によって、私たちは今一つなのです。

ボアズとルツの話は、神様の教会への愛を映し出しています。神様はわたしたちを愛し、花嫁にしてくださいました。イエス様によって私たちは大きな祝福を受け、命の糧を受け、全ての人に神様の家族になる招きが与えられています。

讃美歌 II 78

祈り 天の父なる神様、わたしたちを清め、聖なる者としてあなたの家族としてくださったイエス様を感謝します。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

キャロル・ローズ
コロラド州 プエブロ

9月17日(土)

信 頼

聖書朗読 I サムエル 1:1~11

いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえを話された。

ルカ 18:1

多くの喜びを感じている中でも、ずっと願っている希望が叶わないことは苦しみを与えます。サムエル記に書かれているハンナには、多くのものが与えられていました。しかし、子どもを授けられないことは大きな苦しみでした。彼女は必死でした。こんなとき、私たちはどうするでしょうか。ハンナは神様に信頼しました。神様の前に全てを打ち明け、彼女の全てを神様に捧げました。

ハンナの願いは叶いました。しかし、全ての願いが叶うわけではありません。私たちが望み、切実に祈ったとしても応えられない祈りもあります。私たちは、願いが答えられなかった悲しみを無視してはいけません。私たちは、祈りの中で願いが叶った時の喜びを感じるとともに、神様は応えられなかった願いも全て聞いてくださっていると信頼できるのです。ハンナは私たちに、祈り、叶いそうにもない願いでさえ全て打ち明けることの大切さを教えてくれています。神様は不可能な状況でも働かれます。

自分の願いを認識し打ち明けることを学んだ時、どんなに不可能に思えることでも、見えないものを信じ、神様は必ず益をなしてくださると確信する信仰の段階に置かれるのです。

讃美歌 II 191

祈り 神様、全てのことは私が思うようには行きません。しかし、私はあなたを信頼します。あなたの思いのままに私を練ってください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

マイク・サンダース
アイダホ州 ボイシ

9月18日(日)

わき見生活の危険性

聖書朗読 I サムエル記 17:16~30

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

エペソ 6:12

わき見運転は危険です。携帯を触りながらの運転の危険性を伝えるポスターや広告もたくさんあります。事故は運転手の気が逸れてしまっている時に起こるのです。

わき見生活も同じように危険です。I サムエル記 17 でダビデはイスラエルの民を挑発するゴリアテの姿を見ます。いくつかの質問をした後、ダビデは巨人と向いあう前に、兄と向かい合っていました。

エリアブはダビデに何をしに来たのかと問いました。ダビデをあざけるように彼のわずかな羊の話を持ち出しました。彼は、ダビデの悪い心がわかっていると言いました。しかし、ダビデはそれに惑わされることはありませんでした。ダビデは誰が、戦うべき相手なのかわかっていて、よそ見をすることはありませんでした。

私たちの生活は誘惑で溢れています。時々、私たちは大切な話の間でも、対して重要ではないメールに気を逸らしてしまいます。家庭の中で、子どもたちと一緒にいられる時間にも仕事で起こったことに意識が向いてしまうこともあります。教会の群れにおいても、個人的な出来事によって団結することを難しくしてしまうことがあります。

あなたの生活について考えてみましょう。あなたの戦うべき相手は何ですか。何が誘惑になっていますか。わき見生活は危険です。しかし、神様により頼んだ時、私たちは巨人でさえ倒せるのです。

讃美歌 380

祈り 天の父なる神様、どうか私たちが正しいものに意識を向けることができますようお助けください。私たちが惑わすものを避け、何が一番大切なものなのか考えながらあなたに仕えることができるよう導きください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア